

仕様書

1 業務委託名

令和7年度広島県海ごみ清掃活動等推進業務

2 実施期間

契約締結の日～令和8年3月13日（金）

3 業務の経緯と目的

(1) 経緯

本県は、2050年までに瀬戸内海に新たに流出するプラスチックごみゼロを目指すため、令和3年6月に「2050 輝く GREEN SEA 瀬戸内ひろしま宣言」を行うとともに、目指す姿の実現に向けて、官民連携プラットフォーム「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム（以下、「GSHIP」という。）」を設立し、参画会員等と連携・協働しながら、プラスチックごみの清掃・回収等に取り組んでいるところである。

(2) 目的

本業務は、本県における効果的な海ごみ流出防止対策を推進していくため、令和7年度に「参画会員等が一堂に参加できる清掃イベントの実施」や「地域清掃活動と GSHIP 参画会員のマッチングの仕組みを構築」することで、漂着物量の削減と意識向上を図る。

また、当該清掃活動参加者を対象としたアンケート調査により事業効果等を把握するとともに、県内の海岸清掃活動の状況について調査することで、今後の事業展開検討の基礎資料として活用する。

4 業務内容

(1) 清掃活動イベントの実施、参画会員とのマッチングの支援

ア GSHIP 主催若しくは他団体の活動に併せた清掃活動イベントの実施

(ア) 実施要件

次の項目を考慮した上で、清掃活動の企画、準備及び運営を行うこと。

- ・開催回数：1回以上
- ・開催時期：令和7年10月（土日、祝日を含めること）

※秋の海ごみゼロウィークや環境月間、環境省と瀬戸内海関係14府県で構成する「瀬戸内海プラごみ対策ネットワーク（略称：瀬戸プラネット）」の一斉清掃活動等に併せて実施することを想定しているが、詳細は、県と事業受託者において協議の上、決定するものとする。

- ・開催場所：ホットスポット（ごみが集中し、滞留している場所）での集中的な回収が可能となる海岸または河川をフィールドに実施することとし、具体的な候補場所を提案内容に含めること。
- ・対象者：GSHIP 会員、県民
- ・参加人数：100名以上

※GSHIP 参画会員のほか、地域の公衆衛生活動リーダー等へ参加を呼びかけるなど、県内の清掃活動の推進につながる取組として実施すること。

(イ) 清掃活動イベントの運営

- ・ イベントを開催するために必要な会場借上げ、会場設営、会場サイン、現地スタッフの手配、当日受付（欠席者への対応を含む。）、進行管理、清掃活動で回収したごみの処理等開催に係る一切の業務を行うこと。なお、回収したごみの処理は関係市町が対応することを想定しているが、関係市町との調整は受託事業者が実施すること。
- ・ 参加者に対する安全・衛生管理に十分注意すること。
※熱中症特約を含む傷害保険及び賠償保険へ加入すること。
- ・ イベント開催当日、円滑な進行管理が出来るよう必要な現地スタッフを配置すること。
- ・ 当日の集合場所及び交通案内（駐車場の状況）並びに集合場所とイベント会場が異なる場合は連絡バス等の手配について提案内容に含めること。

(ウ) その他

- ・ 清掃活動後の交流会や環境学習等を企画、実施すること。
- ・ 参加者へのアンケートの実施、集計を行うこと。
- ・ 必要に応じて、海ごみ流出防止啓発のためのグッズを作成し、配布すること。
- ・ 雨天時の対応について提案内容に含めること。
- ・ 業務の目的を効果的に達成できる場合は、上記内容に加え、本イベント開催と同時期に開催が予定されている他のイベント等と連携するなど、独自の企画提案を行っても良い。

イ 県内で実施予定の清掃活動の情報収集、GSHIP 参画会員とのマッチングの支援

- ・ 県内各地域で予定されている清掃活動の実施計画（※ボランティア等の参加可能なもの）を年3回以上情報収集し、取りまとめるとともに、県の海ごみ情報発信統一サイト*に掲載可能なものについては一覧化した上で県に情報提供すること。
- ・ 情報提供があった清掃活動に GSHIP 会員等が参加した場合は、当該清掃活動の主催団体に対し、参加企業名、人数等の活動結果を確認し、実績報告として取りまとめること。

*海ごみ情報発信統一サイト（GSHIP サイト）

<https://gship.jp/cleanup/>

<https://gship.jp/cleanup/past/>

(2) 意識向上に係るアンケートの実施及び県内の海岸清掃活動の状況調査

ア 意識向上に係るアンケートの実施、集約

- ・上記、(1)イの業務で情報収集した清掃活動の主催団体に対して、可能な範囲で当該活動参加者を対象とした海洋プラスチックごみ問題に関する意識調査（アンケート調査）の実施協力を呼びかけ、協力が得られた場合は、その結果について集約し、分析すること。

※アンケート調査の項目については、県と協議の上、作成するものとする。

- ・協力率（回収率）をあげるための工夫について検討し、その手法について提案内容に含めること。

イ 県内の海岸清掃活動の状況調査

- ・行政、自治会、民間企業、ボランティア団体等が令和6年度に実施した、県内の海岸清掃活動の状況について、実施状況及び参加人数を調査し、取りまとめること。

※情報集約の対象範囲については、県と協議の上決定するものとするが、可能な限り、多くの活動状況が把握できるよう努めること。

(参考)「海岸漂着物等対策推進地域計画」(H28策定)で設定したモニタリング指標：

①評価ランクの減少、②海岸清掃参加人数の増加

- ・集約対象の候補となる活動（例：リフレッシュ瀬戸内等）及び集約方法について検討の上、提案内容に含めること。

(3) 報告書の作成

上記、(1)(2)の結果等とともに、結果を踏まえ、気軽に多くの県民が清掃活動に参加するための今後の実施方法や課題、期待される効果、方策等についてとりまとめた報告書を作成すること。

5 とりまとめ及び成果品等

4について、次のとおり最終報告書を作成する。

区分	納入期限	仕様	部数
最終報告書	令和8年3月13日	・A4版、カラー両面刷 ・電子ファイル(Microsoft社Word、Excel 又はPowerPoint形式)	1

納入場所：広島県環境県民局環境保全課

6 その他

- (1) 本業務で得た全ての成果品については、広島県に帰属するものとし、広島県の許可なく第三者に貸与及び公表してはならない。
- (2) 業務内容実施が困難と認められる場合の対応については、広島県と協議し決定するものとする。
- (3) 本仕様書に定めのない事項等で疑義が生じた場合は、広島県と協議し決定するものとする。